

平成 25 年 11 月 25 日

会員各位

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会

第 6 3 回日本医学検査学会（新潟）英語プレゼンテーションの募集について

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本で 28 年ぶりに開催される 3 年後の IFBLS 世界医学検査学会に向けて、より多くの会員が英語での学術発表を行えるようになる取り組みが求められております。

つきましては、標題の件を下記の通りと致しますのでご理解ご協力をお願い致します。

謹白

記

1. 募集内容および募集理由

第 6 3 回日本医学検査学会（新潟）における英語ポスターによる発表を募集する。

※国際学会では招待講演、シンポジウム等を除く一般発表はポスター形式で実施されているため。

※口語での英語発表に比べて取り組みやすいため。

※英語ポスター（及び抄録）の作成を経験することで、これにデータを追加または新たな解釈を加えることなどにより、国際学会での発表につながりうるため。

※英語ポスター発表者同士の交流の機会となり、相互触発につながるため。

2. 募集方法

①英語抄録による応募を受け付ける。

②第 6 3 回日本医学検査学会の一般演題の応募手続きにのっとり、会員専用サイトから行い、「一般演題」の発表形式で「示説（英語）」を選択、抄録登録方法で「ファイルアップロード（Web）」を選択し、ダウンロードした「抄録テンプレート」の設定を「文字列を左に揃える」から「両端揃え」に変更して、抄録表示を整える。

③英文抄録ボリュームについては、半角文字換算で、52 文字×18 行×2 段となる。

単語の文字数、単位などの使用頻度、単語間の空白により差があるが、300 単語程度の登録が可能と思われるが、最大文字数を超えて登録ができないので注意する。行末の単語の切れ目に注意する。

④会員番号による登録時には、発表者である会員名が検索されて和文表示となるので、これをローマ字表記に置き換える。例 山田 太郎 ⇒ Taro Yamada

⑤発表者の施設名についても、上記④同様に英語表記に置き換える。

3. その他

①採用の可否、ポスター作製要領などは応募者に対して別途通知する。

②英語プレゼンテーションの特設ブースを設置する。ポスター前での発表は日本語も可とする。

座長は日臨技国際交流推進委員が務める。

③発表者は学会懇親会に無料招待され、発表者同士の交流の場に参加できる。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

J AMT 事務局 島村・小出 03-3768-4722